

いつか小さな力に

学校法人安田学園 安田女子中学校 2年 宮地 小百合

私は小学生の時、租税教室という授業で初めて税金について知りました。そして中学生になり、ニュースなどで税金が最も多く使われているのが社会保障だということも知りました。社会保障の中には医療・年金・介護・福祉に関する費用があります。その中でも、福祉に関して気になったので調べてみました。

私の兄は、自閉症スペクトラムという障害があり、小学校・中学校は特別支援学級で学び、現在は特別支援学校の高等部に在籍しています。

幼いころから家族と出かけた時などは、障害者手帳を見せると動物園や植物園で兄が無料で入場できているのを見ていたので、私は福祉サービスがとても身近なものに感じていました。また、兄は放課後等デイサービスをよく利用していました。

放課後等デイサービスとは、平成二十四年四月に児童福祉法に位置づけられた支援です。六才から一八才までの、就学している障害児が利用でき、授業の終了後又は休業日に、個人の状況に応じた発達支援を行ったり、保護者支援を行うサービスです。兄が利用している放課後等デイサービスは、何人かで遊びやゲームを通して学んだり、英語や料理を学んだり、プールに行ったり、休日は遠方に出かけて様々な体験をしています。私も実際に、兄の様子を見学しに行ったことがあります。兄がイキイキと楽しそうに過ごしている姿が印象的でした。

気になったのは、これだけの充実した内容のデイサービスに対して、支払う利用料はどれくらいかかるのかということです。両親に聞くと、放課後デイサービスの料金は、受給者証があれば九割が自治体の負担となり、一割が自己負担となります。さらに世帯の所得に応じて上限額があるので、たとえば世帯所得が九百万円までの家庭なら、たくさん利用しても一ヶ月の利用料は四千六百円になるそうです。私は多くの利用料金を税金によって負担してもらっていることを知り、驚きました。またこの制度を利用しながら、かけがえのない経験をして成長した兄をみてこの制度に深い感謝の気持ちがわきました。

兄は特別支援学校の職業コースに在籍しており、卒業後は一般企業の障害者枠で働くことを目標にしています。もし就職できたら、今度は兄が税金を払う立場になります。今まで税金による福祉サービスのおかげで豊かな生活を過ごしていた兄が、次はだれかの生活が豊かになるための小さな力になるのだと思うと、私はとてもうれしい気持ちでいっぱいです。